

# ACE

Act and Communicate in English



特集

## 学びを広げる ICT 活用

### Tips for Activities!

聞き取りクイズ

COLUMN

小学校外国語の評価は難しい？②



GIGA スクール構想による端末の整備や、デジタル教科書の無償配布等、ICT 環境は整いつつあります。小学校の外国語の授業では、どのようにすればICTを効果的に活用できるのでしょうか。そのポイントを、関西大学初等部の東口貴彰先生に解説していただきます。

## はじめに

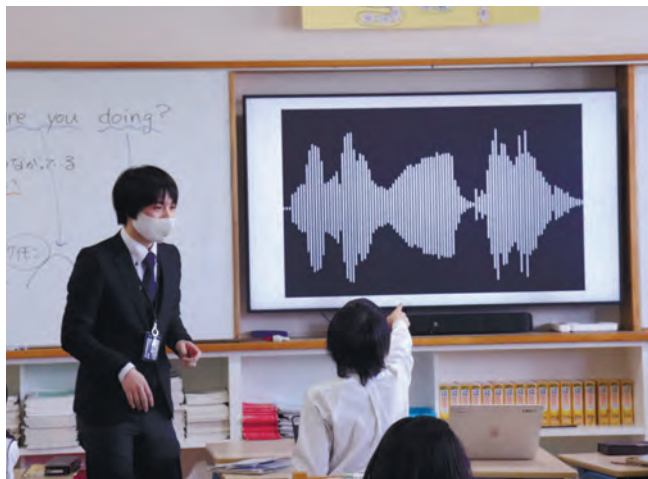
1人1台、タブレット端末などのICT機器を子どもたちが活用できる時代。外国語科・外国語活動の中でもICTを効果的に活用して子どもたちのコミュニケーションをより豊かなものにし、たいと考える先生は多いのではないのでしょうか。とはいえ、そのためにまずは指導者自身がICTをどのような場面で、どのように活用するのが効果的かということを知る必要があります。そこで本特集では、外国語の学習において、ICTを活用する効果的な場面やその利点についてご紹介します。

## コミュニケーションを豊かにするICT活用

ICTは「コミュニケーションを豊かにするためのツールであり、それを活用することで主体性や協働性がより一層高まったり、創造性が育まれたりする」ものであると、私はよく述べています。無論、ドリル的な活動や、外国語を個人で学ぶ場面においては、これは当てはまらない場合もありますが、基本的にはICTというツールを媒介とし、子どもたち同士のコミュニケーションを豊かにさせることが、とりわけ初等教育では大切になります。そこで、初等教育におけるICTの効果的な活用方法や場面を5つに分けて紹介します。

### ① 提示ツール

これは、主に指導者がICT機器を活用して、子どもたちに画像や映像、音声、リアルタイムに収集したデータなどのさまざまな情報を、スクリーンや子どもたちの端末に提示する方法です。拡大印刷では伝わらなかった多種多様な情報を、ICTを活用して効果的に提示することで、子どもたちの好奇心や探究心をくすぐることができます。デジタル教科書を使用する際も、さまざまな音声データや絵カード、動画などのコンテンツが豊富にあることから、とりわけ「提示ツール」として使う先生も多いのではないのでしょうか。



英語の音声を視覚化して提示している様子

### ② 共有ツール

子どもがアウトプットしたものをみんなで共有することで、自然な対話が生まれます。子どもたちの授業に対する目的意識が明確であればある程、子どもたちは共有された作品を見たり、自分の作品と比べたりしながら、自分たちの英語を捉え直すことができるようになります。そこで生まれた子どもたちのたくさんの気づきをもとに、より正しい英語表現を身につけたり、文法事項などを一般化したりすることで、英語表現の定着に結びつけていくのです。また、ICTを活用して、共有した内容やデータを即座に「生きた教材」として新たに提示することもできます。さらに、共有した内容をもとに、容易に共同作業をすることも可能です。例えば、授業内ではなるべく英語の練習に専念し、プレゼンテーションの準備をするなどの作業は子ども同士で個々にデータのやり取りをしながら家庭で進めることもできます。共有ツールとしてICTを活用することで、「45分という枠に捉われず、学びたいときに学ぶ」「学級の枠に捉われず、どこでも共通の目的を持つもの同士で共有しながら学ぶ」といった、これまでは物理的にできなかった新しい学び方のスタイルにも結びつきます。



共有アルバムを用いた  
学び合いの様子

### ③ 発表ツール

プレゼンテーションをすることだけが発表ではありません。ICTを活用することで、学んだことをアウトプットする手段が格段に増えます。映像に残したり、スケッチをしたり、アプリケーションデザインをしたりと、その手段が増えることで、子どもたちの創造性もより広がるようになります。教室の前でみんなに向かって発表するという方法では、緊張してなかなか英語を発話しにくかった子どもたちも、ICTを活用することで、より主体的に英語をアウトプットできるようになります。この発表ツールとしてのICTの使用は、最終的にはコミュニケーションの相手や場面、目的に応じて、子ども自らが自由に選択できるようにすることが





ICTを活用した豊富なアウトプット的手段

大切です。子ども自らが相手意識を抱き、より良い方法を話し合いながら選択する力を身につけることが、豊かなコミュニケーションの基盤となるのです。

#### ④ 記録ツール

ICTを活用することで、さまざまな情報をデータの形で保存できます。例えば、教室外にあるものを紹介したり、自分の趣味や習い事の様子を紹介したりといったように、ICTを記録ツールとして活用することで、教室という学びの場所の制約が取り払われるようになります。自分が本当に伝えたいものを友だちに伝えるという言語活動の充実を図るためには、記録ツールはとても重要な役割を担っているのです。また、自分自身の英語表現を見つめ直すという意味でも、ICTを活用した記録はとても有効な手段です。自分がアウトプットした過去のデータを現在と比較することで、自己の英語表現の正確性に気付いたり、そこから次への課題につなげたりすることができます。また、簡単に過去のデータを見ることができるため、「あ、この時に使ったこの表現が今回のプロジェクトでも使えそうだな!」と、積極的に既習表現を活用しようとする姿にも結びつきます。無論、子どものアウトプット



教室外にある英語をタブレット端末に記録している様子

のデータは指導者も共有しているため、評価をする際にもとても役立ちます。子どもたちの学びの軌跡をデータとして保存できることは、子どもにとっても指導者にとっても、とても価値のあることなのです。

#### ⑤ 通信ツール

最近では、離れた場所の相手であっても共に学ぶことができるようになりました。欠席者はもちろん、違う学校や海外の友だちなどと気軽に通信して学びを共にすることができます。また、身近な相手であっても、例えば音声通話をすることで視覚情報を意図的に制限し、「話す」技能を高めるという活用方法もあります。通信の相手や使い方の組み合わせ次第でさまざまな活用ができます。



遠隔でネイティブスピーカーに道案内をしている様子

### ICTを活用して、 子どもの学びが深まる授業・単元設計を

以上で述べたことは、全てコミュニケーションを豊かにするためのICTの活用方法となります。これとは別に、英語学習で必要な知識及び技能の習得に特化したICT活用の方法も当然としてあります。例えば、音声教材を用いたシャドーイングや、挿絵・写真などを活用した即興的なストーリー作りなど、技能面に直接結びつくICTの活用方法も多くありますが、自分でそれらの教材や必要な資料を見つけることが難しい方もいらっしゃると思います。そのような時にはまず、デジタル教科書を利用してみましょう。デジタル教科書には、そういった音声および写真・映像などの機能やコンテンツが数多く収録されているため、これらを有効に活用しながら、言語活動とドリル的活動をうまく織り交ぜ、そこに時として「コミュニケーションを豊かにするためのICT活用」を加えることで、子どもたちの学びの幅が広がり、子ども自らが主体的・協働的に、そして創造的に学び続けられるようになっていくのです。



東口貴彰(とぐち・たかあき)

関西大学初等部教諭、情報教育主任。Apple Distinguished Educator。主な著書に『小学校英語×ICT「楽しい!」を引き出す活動アイデア60』(明治図書)『学級づくり×ICT 1人1台端末の普段使いアイデア55』(明治図書)等がある。

ICTの利点のひとつは児童が個々のペースで活動に取り組めることです。日々の授業でICTを活用されている東京都八王子市立七国小学校の今野美穂子先生に、児童が楽しんで取り組める活動をご紹介します。

デジタル教材や児童が持つパソコンの活用。先生方はどのようにされていますか。私は、「児童が選択できる。個人で。何回も。楽しく」をキーワードにICTを活用するようにしています。具体的に活動をご紹介します。

## 【高学年】

### 聞く活動

CROWN Jr. では、Word Chant などにQRコード\*が付帯しているので、児童はいつでもそれらの音声を聞くことができます。私は、この機能をそれぞれの単元や、受け持つ児童の実態に合わせてさらにカスタマイズする方法として、Chromebook の Classroom を活用しています。各単元で児童に慣れ親しませたい語彙・表現などが含まれる Word Chant や巻末の Words & Phrases などのデジタル教材を、単元ごとの Classroom に資料として入れておきます。さらに、児童の実態に応じて、5年生のアルファベットのチャンツのデジタル教材も入れておきます。アルファベットの文字がもつ音についての理解度は、児童間で差が生じやすく、理解に時間がかかる児童もいます。そのため、単元が進んでも、基礎基本の定着が必要と思われる教材は、何度でも触れることができるよう意識して資料に入れていきます。

### 書く活動

何度も聞いたり、聞かたびに目にしたりすることで慣れ親しんだ語彙や表現を書く（なぞる）学習では、Chromebook の Jamboard を使います。Jamboard を背景として設定してから Classroom に入れると、なぞるときに文字が動くことを防ぐことができます。

授業中に5分ほど、児童はパソコンを使って、興味をもった上記の「聞く」「書く」の個人学習に取り組みます。また、個人学習の時間と並行して、教師が指定した列の児童同士はペアで会話をし、会話を聞いて評価をします。ICTを活用することで、評価の時間も、児童の学習の時間も確保することができます。

### 話す活動（発表）

単元によっては、発表に取り組めます。この活動では、ICTを活用して、自分の話す姿を客観的に捉える力を伸ばすことができます。自分の発表を友達に聞いてもらい、アドバイスをもらうとともに、ミライシードの授業支援ソフトの録画・再生機能を使います。アイコンタクトやジェスチャーなど伝わりやすい工夫について、自分の発表の様子を客観的に確認することができます。自己評価をすることで、課題を見つけ、主体的に学ぶことにつながります。指導者は、発表の練習開始時と、発表間近で録画された児童の様子を比較することで、それぞれの児

童の思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の評価の参考とすることができます。

### 英語をたくさん口にする活動

この活動では様々な語彙、表現に触れさせることが目的なので、単元で扱う語彙や表現のほか、CROWN Jr. では扱わない語彙や表現についても扱います。多くの児童が耳にしたことがあり、ビートがはっきりしている英語の曲をバックに流しながら、かなりのスピードで次々に語彙や表現を言っていきます。口にする語彙や表現はパワーポイントのスライドにしているので、指導者は、次々にシートをめくるだけです。高学年の女子児童もリズムに乗って、大きな声で発話しています。

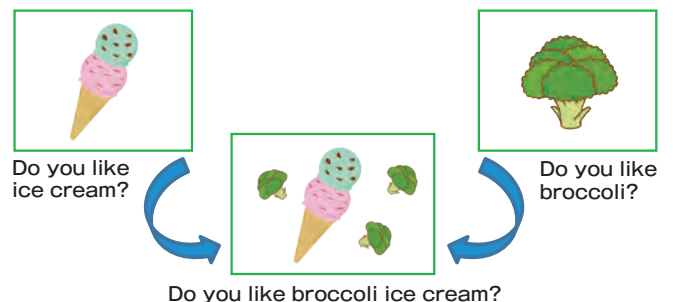
## 【中学年】

### スライド機能を使用した発表型の活動

(Let's Try! 1 Unit 4 I like blue.)

児童は、歌や映像を通して、“Do you like ○○(食べ物)?”の表現に慣れ親しみます。好きな食べ物を2つ考え、それを合わせて出来るものを楽しみながら、相手に伝える活動を発表として行います。

発表には、スライドに描いたイラストを使用します。Google の描画キャンバスを使い、イラストを指で描き、スライドシートにコピーして発表させます。絵を描くことに苦手意識のある児童は、インターネットからダウンロードしたフリーのイラストとキャンバスを並べて、参考にしながらイラストを描いてもよいことにします。何度でもやり直しができるので絵を描くことに対する負担感を減らすことができます。



### まとめ

ICTの活用は、児童同士の教え合いにつながり、新たな友達とのコミュニケーションを図る場となりました。また、新たなICT活用法を考えて提案する児童や、様々なアプローチを取り入れたことで、「外国語＝楽しい」と感じる児童が増えました。



今野美穂子(このの・みほこ)

東京都八王子市立七国小学校にて外国語専科として勤務。  
文部科学省英語教育推進リーダー、東京都英語教育推進リーダーを経て現職。

\* QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



## 実践編② ICTを使って他校と交流

目的・場面・状況を明確にした言語活動も、ICTによって幅が広がります。CROWN Jr. の JUMP で ICT を使った実践をされた埼玉県越谷市立川柳かわやなぎ小学校の宮坂真理枝先生に活動をご紹介します。

### 1. はじめに

埼玉県越谷市では、令和3年4月より児童一人ひとりにタブレット端末が貸与され、使用できるようになりました。タブレット端末には、ロイロノート・スクールもインストールされており、様々な教育活動で活用されています。また、本年度より外国語のデジタル教科書も使用できるようになりました。

### 2. 相手意識を高めるために

CROWN Jr.では、6年生の1学期に、単元末のPresentation 1で学校行事を紹介する活動が設定されています。これまでは、児童は自分の発表に気持ちが向いてしまい、伝えるべき相手をなかなか意識できないという課題がありました。そこで、今回は相手意識を高めるため、本校について知らない市内の小学校とWebex Meetingsを用いて行事を紹介しあう活動を計画しました。

### 3. イメージの共有

児童にとって経験のない活動なので、発表のゴールを全員で明確に共有する必要がありました。そのため、担任の先生方に児童役になっていただいてモデル動画を作成し、導入の段階で児童に視聴させました。その後3人組を作り、行事を選定しました。児童は「相手の小学校とは行事に違いがあるだろう」と予測を立て、「本校独自の活動である川柳かわやなぎのことを伝えたい」や「学校によって違いがありそうな修学旅行について発表したい」などと考えていました。また、発表の練習が始まってからも何度もモデル動画を皆で視聴し、その都度発表に必要なことを確認しました。

### 4. 相手に伝えるための工夫

今回は画面を通して伝えるため、相手に伝えるための工夫が今まで以上に必要であることから、どのように工夫したらよいかを児童と共に考えました。

例えば、学校行事を伝えるにあたって、聞いたことのない単語を使わざるを得ないことがありました。「卒業式」を選んだグループは、校長先生から卒業証書を受け取ることを伝えるために、“diploma”と“Principal”という単語が必要でした。そこで、校長先生から卒業証書を受け取る場面と卒業証書を写真に撮り、発表の際にロイロノートでスライドにして見せようと考え、グループで校長先生のところへお願いに行きました。実際に発表の場でスライドを使用すると、初めて目にした卒業証書に驚きの声が上がりました。

また、今までは、使用するイラストは紙に手描きで用意することが多かったのですが、ロイロノートを使うことにより準備の時間が大幅に減り、その時間を発表練習に割くことができるようになりました。

### 5. 練習の手立て

今までは、児童がALTや教員に発音を直接聞くことが多く、習得するまで何度も聞きに来る児童もいて、効率的ではありませんでした。そこで、児童自身で練習する機会を増やすために、ロイロノートを活用することにしました。

まず、発表に必要なフレーズを普通の速さのものと、1単語ずつ発音するゆっくりのもの2種類をALTの音声で用意しました。また、難しい単語がある際には、個別にALTや教員がロイロノートに録音しました。児童は、単語ごとに止めたり再生速度を自分で変えたりしながら、納得がいくまで自分のペースで繰り返し練習し、ネイティブに近い発音でスムーズに発表できるようになりました。発表の前にはタブレットを持ち帰り、発音練習をすることを宿題としました。練習の記録の提出をロイロノートにしたため、自宅で練習後すぐに提出することができました。

### 6. ついに交流

各学級で発表後、代表グループを選出し、オンラインで他校に向けて発表しました。代表グループの児童たちは慣れない環境での発表で緊張していたようです。相手の学校の発表を聞く際は、自校と相手の学校行事を比較しながら聞いていました。感想には、「修学旅行で行く場所や時期が違って驚いた」や「相手の学校の良さがわかった」などがありました。一番多かったのが、「ジェスチャーをしたり実物やスライドを提示したりすることによって発表がわかりやすくなっていった」という感想でした。オンラインでの発表で初めて聞く内容だからこそ、相手に伝えるための工夫の重要性に改めて気づくことができました。



相手の小学校の発表を視聴している様子

### 7. 最後に

ICTの活用により、前年度と比較して発表練習に割く時間が増え、より活発な発表となりました。今後、児童の理解をより深めていけるように、デジタル教科書の有効な活用方法を模索していきたいと考えています。



宮坂真理枝(みやさか・まりえ)

埼玉県越谷市立川柳小学校教諭。外国語専科になり今年度で3年目。近隣の学校と兼務している。

# Tips for Activities!

やってみよう  
英語活動

歌やチャントなどで単語やフレーズを学習するとき、児童はどのように聞いているでしょうか。ただ何度も聞かせるのではなく、自然に児童が耳を傾けたいくなるような指導者の支援を紹介します。

## 「聞き取りクイズ」 単元名 *Let's Try! 2 Unit 3 I like Mondays.* (4年生)

### 使用するもの

「一週間の歌」(CD、デジタル教科書の音源など。用意できなければ指導者の歌でよい)

歌詞: Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday comes again.

### ① 歌と出会う「どんな歌かな？」

1回目は、文字や絵の情報を提示しないまま歌を聞かせ、聞き取れたことについて質問します。この時点では、歌を知らない児童が多数います。

T: What did you hear?

Ss: 曜日だ! マンデーって聞こえた。

T: That's right. This is a song. The days of the week.

続けて2回言っていたのがあったね。何曜日だったかな?

Ss: ん、そんなのあったかな? (次はよく聞いてみよう!)

### ② 聞くポイントをもつ

#### 「続けて2回言っているのは何曜日？」

2回目は、繰り返しの言葉を聞き取ることを目的に、歌を聞きます。

S: サンデーを続けて2回言っていた。

T: Sunday? It's not Sunday. Listen carefully again.

注意を向けて聞くと、個々の単語や音をより意識するようになります。中には、TuesdayとThursdayを混同してしまい、「チャーズデーって2回聞こえた」と答える児童もいます。

### ③ じっくり聞く「木曜日は、何て言っていた？」

3回目は、先の2回目で聞き取れなかった木曜日に注意を向けさせ、Thursdayを聞き取れるように促します。

T: How do you say 木曜日 in English?

S: わからない。

T: The first is Sunday. Sunday is 日曜日。日月火水木。5個目を聞こうね。木曜日が聞こえたらその場で手を挙げてね。(Thursdayに気付いたかを確認するため)

S: はい。(集中してしっかり聞きとるぞ!)

### ④ 考えながら聞く「Thursdayを声に出そう！」

4回目となると、「今度こそ聞き取るぞ!」といった気概を感じるようになります。その際、「木曜日が聞こえたら声に出して言ってみよう」と声をかけてみてください。また、「木曜日以外のところも口ずさめるなら、声に出してみよう」と伝えると、真似をして言ってみる児童が多数出てきます。5回目、6回目と聞き進める頃には、ほとんどの児童が声に出して歌うようになります。

指導者が、段階を追って聞くポイントを伝えていく。そうすることで、児童の聞く意識が高まります。集中して聞くようになり、注意を向けさせたい語にも気付きやすくなります。

このような、「集中したら聞けた!」という経験を繰り返すことで、事前に指導者に言われなくても、「考えながら聞く」という、主体的に聞く姿勢がだんだんと育まれるようになります。



### Teacher Talk

**Listen carefully again. What day is it? What did you hear?**

(曜日に注意を向けるように促すフレーズ)

**Nice try! / You're a good listener. / Good job. / Well done. / Super!**

(発言した児童を励ましたりほめたりするフレーズ)



長沼久美子(ながぬま・くみこ)

神奈川県横須賀市立鶴久保小学校教諭。第二言語習得の視点から、小学校英語の授業実践を研究している。

# 小学校外国語の評価は難しい？ ②

外国語の評価はどのように行えばよいでしょうか。前回に引き続き、特に悩みの多い「主体的に学習に取り組む態度」の評価のヒントを、大田亜紀先生に解説していただきます。

今回の学習指導要領では、学習評価については「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で観点別評価を行います。また、「評価は何のためにするのか」が問い直され、「授業改善」「学習改善」という大切なキーワードも示されています。

前回のコラムでは、3観点の中でも、先生方からの「どう評価したらよいか悩んでいる」という声が特に多い「主体的に学習に取り組む態度」の評価について取り上げ、どのような姿を評価することが求められているのかを整理してみました。今回は、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の具体的な方法について一緒に考えてみます。

「主体的に学習に取り組む態度」は、「粘り強い取り組みを行おうとする側面」と「自らの学びを調整しようとする側面」の2側面から評価することが求められています。この2つの側面は、児童が言語活動に取り組む中であらわれる姿です。

## 「粘り強い取り組みを行おうとする側面」の評価

「粘り強い取り組みを行おうとする側面」の評価をするためには、授業づくりをする上で、次のようなことが大切であるとを考えます。

- 児童が主体的に取り組みたくなるような場の設定がある。
- どこへ向かうのか、児童が目標をしっかり理解している。また、その目標達成のための方法の見通しを児童がもっている。

児童の実態を踏まえ、興味・関心がわき、やってみたくなる、挑戦したくなる場にするためには、「どのような言語活動を設定するか」「どのような目標設定をするか」がとても大切です。粘り強さを発揮できるような場がなければ、発揮したくてもできません。児童が粘り強く取り組みたくなるような活動になっているか、児童にとって高すぎず低すぎず、適切なゴール設定になっているか等について、単元の構成を確認してみましょう。そのような活動設定やゴール設定がはっきりしたら、児童とゴールを共有します。

児童とゴールが共有できたら、その目標達成に向けた言語活動において、粘り強く「聞こう」「読もう」「話そう」「書こう」とする態度があるかを評価していきます。知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等を働かせたりすることを往還する過程で見られるでしょう。この姿は様相観察等で見ることはできますが、全員分を見るのは困

難です。ワークシートや振り返りシートに、「授業を振り返り、今日の目標達成（めあて達成）に向け、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりする活動に、自分なりにどう取り組んだか」について言語化させることで、本時における活動への取り組みの態度を知る資料となります。これらの児童の自己評価をもとにして指導改善や学習改善に活かすことができます。

## 「自らの学びを調整しようとする側面」の評価

では、もうひとつの側面である「自らの学びを調整しようとする側面」（自己調整）については、具体的にはどのように評価していったらよいでしょうか。これは、目標に向けて言語活動に取り組む中で、児童が自分の学びの状況を振り返り、工夫改善をしながら自己をより高めていこうとする姿をみていくこととなります。つまり、児童が自律的な学びができることを目指しており、短期間ですぐに身に付けるのは難しい力といえます。それゆえ、複数単元で継続的に長い期間をかけ、その姿を見取ることひとつの方法です。

目的意識、相手意識をつねにもちながら、伝え合いたい内容や表現を考えたり、実際に言語活動を繰り返しながら表現を工夫、改善したりして、児童自らが自分の学びをどう変容させたのか、またどのように変容させようとしているのかは、振り返りの場や振り返りシート等を活用しながら児童の内省を可視化させるとよいでしょう。その際、振り返りシートにはただ感想を書かせるのではなく、「どのようにしたらできるようになったか」「なぜそのようにしたのか（考えたのか）」「次にどのようなことを工夫するか（がんばるか）」など、自己変容させるための自分の学び方に着目させて表出させると、児童がどう自己調整を図りつつ学んでいるかを見取ることができます。

主体的に学習に取り組む態度の評価は、2側面から評価しますが、それぞれを切り離して評価するものではありません。振り返りシート等を評価の参考資料とし、粘り強い取り組みや自己調整を図りながら言語活動に取り組もうとしている姿を見取り、評価をしていきましょう。



大田亜紀（おおた・あき）

別府大学短期大学部 初等教育科 准教授。福岡県公立小学校教諭、福岡県教育センター指導主事、公立小学校教頭を経て現職。



# 伝統と信頼の「初級クラウン」がリニューアル! 新中学生の英語学習に最適!

中学校に入ってすぐに役立つ辞書は卒業記念品にぴったり!!

## 三省堂の名入れ辞典

お求めやすい価格の  
卒業記念用特製版 をご用意  
しております。

校名箔押しサービス  
致します!!

詳しい内容  
申込方法は  
こちら▼▼



箔押しサービス

令和4年度  
卒業記念  
桜ヶ丘小学校



ジュニアクラウン  
中学英和辞典

第14版 **特製版**

田島伸悟・三省堂編修所 [編]  
B6判 オールカラー 928ページ  
定価 **1,200円** (本体 1,091円+税10%)



ジュニアクラウン  
中学和英辞典

第12版 **特製版**

田島伸悟・三省堂編修所 [編]  
B6判 オールカラー 640ページ  
定価 **1,200円** (本体 1,091円+税10%)

2022年4月  
サービス提供開始!

## 辞書のWebアプリが使える特典付き!

GIGA  
スクール構想  
対応



+



さらに使いやすく  
さらに深める

Webアプリだから、どんなデバイスでも!



Chromebookを活用している学校現場でも!

ChromebookはGoogle LLCの商標です。

音声が入れるから、  
リスニングやスピーキング  
の力がつく!

big 小 AI  
/big ビグ/ 比較級 bigg ビガ/: 最上級

再生できる音声(例)  
小学・中学必修語  
発音のしかた ほか

ことまな+

Kotomana

カンタン 2 ステップ

- 1 ID設定
- 2 辞書に封入のシリアルコード入力

- ご利用にはインターネットへの接続が必要です。
- 1つのシリアルコードにつき、1ユーザーのご利用となります。
- スマートフォンやタブレット端末のご利用は、保護者や先生がたのご指導のもと行ってください。
- 画面は現在開発中のものです。変更となる可能性があります。

三省堂教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

2020年度版小学校英語教科書サイト <https://tb.sanseido-publ.co.jp/02cjpr/>

三省堂

〒102-8371

東京都千代田区麹町 5-7-2 TEL (03) 3230-9411 (編集)・9412 (営業)